



架け橋期のカリキュラムとは

幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育・保育と小学校教育の関係者が連携して作成するものです。

山口県が設定した架け橋期のカリキュラムの「開発の方向性」及び「共通の視点例」は以下のとおりです。

【山口県の架け橋期のカリキュラム「開発の方向性」】

- 地域、園・小学校が創意工夫しながら、それぞれの特色を生かしてカリキュラムの作成ができるようにする。
- 山口県における「共通の視点例」及び実践事例を示すことにより、各園・小学校、市町が架け橋期のカリキュラムを作成する上での手掛かりとすることができるようにする。

【山口県の架け橋期のカリキュラムの「共通の視点例」】

- 子どもたちの現状
- めざす子ども像（園・小学校・地域・家庭みんなで考える子ども像）
- 育みたい力（育みたい資質・能力、重点を置きたい10の姿、ねらい 等）
- 育ちと学びのつながり（園での活動と小学校の学習のつながり）
- 人のつながり
 - ・ 子ども同士のつながり（交流活動 等）
 - ・ 先生同士のつながり（合同会議・研修会 等）
 - ・ 家庭とのつながり
 - ・ 地域とのつながり
- 指導上の配慮事項（「つながり」に関するもの）
 - ・ 先生の関わり
 - ・ 環境の構成

次ページから、令和5年度幼児教育・保育長期研修生派遣園・在籍校作成・実践カリキュラムを事例として掲載しています。なお、センターWebページには、令和5年度以外の長期研修生派遣園・在籍校作成・実践カリキュラムも掲載しております。



架け橋期のカリキュラム例①「やない架け橋期のカリキュラム」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

柳井市の枠となるものとして作成しました。めざす子ども像も市内共通のものです。

カラフルでかわいいデザイン*にし、架け橋期がイメージできるようにしました。また、「掲示するなどしていつも手元に置いてほしい」との思いも込めました。
 ☆ 右の二次元コードのデータはカラーになっていますので、ぜひご覧ください。

保育園(所)・幼稚園<5歳児>遊びを通した学び		やない 架け橋期の カリキュラム		令和6年 2月		小学1年生 教科等を通した学び			
4月		3月		4月		8月 9月		3月	
こどもの育ちや学びのつながり	知識・技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 生活や活動の見通しをもち、考えて行動する。【①②】 運動会や発表会に向けて、自分達も内容を考えたり、友達と協力したりする。【③④⑩】 自分の気持ちを先生に受け止めてもらったり、行動を振り返ったりすることで、友達の思いやきまりの必要性に気付く、行動する。【④⑤⑥】 散歩や遠足などの園外保育で、公共施設を大切にすることで社会とのつながりを意識する。【④⑤】 みんなで使う物を大切にしたり、片付けたりして、自分で生活の場を整え、その必要性を理解する。【①④⑤】 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形・標識や文字などへの関心、感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることを自分でしようとする。【②】 気持ちのよい挨拶や会釈、返事をしようとする。【①】 必要なものや日課を自分で準備しようとする。【②】 時間を意識して行動しようとする。【①②】 楽しくマナーよく給食を食べようとする。【①⑤】 先生や友達の名前を覚え、進んで関わろうとする。【③】 分からないことや困ったことは先生や友達に聞こうとする。【③】 学校のきまりを知り、ルールを守って生活しようとする。【④】 場に応じた言葉遣いの大切さを知り、使おうとする。【④】 学校応援団など地域の方とのふれあいを楽しむ。【⑤】 教科等の学習に興味・関心をもつ。【⑥】 校庭の自然に触れて、その変化を感じる。【⑦】 自分たちの遊びや生活、学習の中で楽しみながら数えたり比べたりする。【⑧】 友達や先生との会話を楽しむ。【⑨】 友達と楽しく歌を歌ったり、絵を描いたりしようとする。【⑩】 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校での過ごし方について知り、見通しをもって学校生活を送ることができる。【①】 登下校や学校生活の中での安全な過ごし方について考えたり判断したりすることができる。【①】 生活や学習の中で、めあてをもって取り組み、振り返ることができる。【②】 係や当番活動など自分の役割を果たすことができる。【②】 学校行事を通して、新しいことや初めてのことにも進んで挑戦し、友達と協力しながら活動することができる。【③】 相手の立場に立って考えたり、気持ちに寄り添おうとしたりすることができる。【④】 よいことと悪いことを判断し、よいと思うことを進んで行おうとする。【④】 友達との関わりの中で思いやりをもって言葉をかけ、行動することができる。【④】 行事や交流を通して、自分の成長や頑張り、友達のよさに気付くとともに、いつも自分を支えてくれる周りの人に目を向け、感謝の気持ちをもつことができる。【⑤】 探究心をもって予測したり、試したりして主体的に学習に取り組むことができる。【⑥】 植物や生き物と関わり、生命を大切にしようとする。【⑦】 数量や図形、標識や文字などを生活や学習の中で使うことができる。【⑧】 いろいろな場面での話し合い活動を通して、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたり、質問したりすることができる。【⑨】 読書習慣を身に付け、言語に対する興味関心を広げるとともに、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現することができる。【⑨】 自分のイメージを動きや言葉、絵などで表現することの楽しさを味わう。【⑩】 				
	思考力・判断力・表現力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びの中で生活に必要な文字や数字、標識などに興味をもち、使うことで伝わる喜びを味わう。【⑧】 日々の生活を振り返り、楽しかったことを話したり聞いたりする。【③⑤⑨】 絵本や童話などの内容をこども自らの経験と結び付けたり、思いを巡らせたりして、思考力・想像力を豊かにする。【⑥⑩】 自分のイメージしたものをのびやかに表現し、友達同士で表現する過程を楽しみながら、喜びを味わう。【⑨⑩】 							
	学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 自然に触れて感動する体験を通して、好奇心や探求心をもち、身近な動植物を命あるものとして大切に作る。【⑥⑦⑩】 園生活の中で充実感や満足感をもち、自分のやりたいことに向かって前向きに取り組む。【①②】 園生活の中で心動かす出来事や出来事、感じたことや思い巡らせたことを自分で表現する。【⑥⑨⑩】 仲間の意思を大切にしようとし、友達の主張に耳を傾け、共感したり意見を言い合ったりする。【③⑥⑨】 様々な経験や対人関係の広がりが自立心を高め、就学への意欲や期待をもつ。【②⑤】 							

子どもの姿が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とつながっているのかを確認できるよう、番号を記入しました。

※各園の特色に応じて変更も可能です。

※各校の特色に応じて変更も可能です。

内容項目を細かくせず、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に子どもの姿のみを示すことで、各園の考えや特色ある取組を尊重し、どの園・小学校でも活用できるようにしました。

1年生前半期は、「～しようとする」という意欲目標としました。そうすることで、子どもたちに、寄り添った支援や言葉がけができるようにしてほしいとの願いを込めています。

カリキュラムのデータはこちら→



このカリキュラムの作成に当たった実践例を P29～32 に掲載しています！！

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成にあたって大切にしたことや工夫点を示しています。

架け橋期のカリキュラム例②-1「周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(園)」

山口県の共通の視点例をもとに周南市が作成した枠を使用しました。

令和6年度周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(小さき花幼稚園)

①(架け橋期にめざす子供像)②(育みたい力)について話し合い、共通理解することでそれぞれの教育・保育実践へのつながりを考えることができるようにしました。

園と小学校、互いの実践を知り、聞き合うことができるように、園ではどのような行事や年齢グループの保育を行っているかを記載しました。同年齢クラスでの保育は、内容によって3つに分けて記載しています。

対象	5歳児												架け橋となる幼児期の終わりまでに育てばしい姿			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
時期	年長となった喜びを感じ、張り切って新しい生活を楽しむ時期				気の合う友達と遊ぶ中で、仲間意識が育っていく時期				友達との関わりを深めながら、活動や遊びを充実させていく時期				友達と共通の目的に向かって意欲的に取り組む時期	一年生になることへの期待が生まれ、活動への取り組みに自信が見られる時期		
①架け橋期にめざす子供像	自分の思いをもち、喜んで表しあおうとする子						思いやりをもち、友達と一緒にさいごまで頑張るめく子									
②育みたい力(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になったことへの喜び、自覚 ・身の回りがある自然に興味・関心を持ち、命の尊さを感じる心 ・自分の思いを伝える力、友達の意見にも耳を傾ける力 						<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで年少・年中児とかかわり、優しく接したり、助けたりしようとする力 ・自立心・友達と力を合わせ生活をすすめていく力 ・自分の力を発揮しながら、友達と共通の目的に向かって活動に取り組む力 									
③育ちと学びのつながり(活動・教科等)	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期始業式 ・挨拶・排泄・持ち物の始末 ・食卓の見直し ・交通安全教室 ・親子遠足(動物園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(火災・不審者) ・親子の集い ・朝ご飯チャレンジ ・お泊り保育 ・親子遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 ・朝ご飯チャレンジ ・お泊り保育 ・1学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業式 ・徳小小学校探検 ・避難訓練(不審者・火災) ・ミニ運動会 ・秋まつりジュース屋さん 	<ul style="list-style-type: none"> ・岐陽中職業体験 ・体操参観 ・運動会 ・クリスマスパーティー ・2学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス遠足(みかん狩り) ・七五三祝儀式 ・クリスマス会(劇発表会) ・クリスマスパーティー ・2学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・郵便ごっこ ・豆まき ・ドッジボール大会(2面) ・お別れ遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットケーキ作り ・避難訓練(火災・消防車見学) ・ひなまつり会 ・音楽発表会(合奏・歌) ・卒園式 	<ul style="list-style-type: none"> ・このぼりの制作 ・自然物(園庭の花)の観察 ・リレーあそび ・走り測定(20Mのタイムを測る) ・鍵盤ハーモニカにさわってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊び ・跳び箱あそび ・走り測定 ・鍵盤ハーモニカで短い曲を演奏してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の思い出を描こう ・走り測定(1周のタイムを測る) ・運動会遊び ・鍵盤ハーモニカでいろいろな曲に挑戦してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びを描こう ・パズル遊び ・様々な歌で思いを表現しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・よく見て描こう ・わたしの夢を描こう ・ドッジボール大会 ・縄跳び ・音楽発表会をつくりあげよう 	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え		
④人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のつながり(交流活動) ・指導者同士のつながり(合同会議・研修会) ・家庭とのつながり ・地域とのつながり 												⑤社会生活との関わり			
⑤指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ●遠征したことの喜びや、緊張、不安などの心の動きを受け止め、寄り添う。 ●クラス全体ではわかりやすいルールで友達とふれあえたり、皆で盛り上がりたっているような活動を取り入れる。 ●生活習慣や園生活の決まりを見直す。 ●一日の予定を文字や図で示し、見直しをもって遊びや生活に取り組めるようにする。 ●周囲との関わりの中で思いを伝えたり相手の思いに気付いたりできるように仲立ちをする。 ○交通指導員の方から、交通安全についてのルールを聞き、実際にやってみる。 ○遠足を通して地域や生き物に関心をもてるようにする。 ○園庭の花を観察し、自然物の美しさに触れ、細かく観察する。 ●教師がすぐ教えるのではなく、「どうしたらいいかな」など問いかけることで、自分たちで考え、判断し、行動することを繰り返させ、主体的に学ぼうとする姿を引き出す。 ●様々な場面で「遊ぶ」場面を設定し、子どもが自分の思いを表出し、最後まで粘り強く取り組めるように援助する。 ●様々な場面で、子どもたちの「分かち合い」の場を大切にし、自分たちの学びの良さや次への見通しがもてるようにする。 												<ul style="list-style-type: none"> ●運動会に向けて各自の取り組み・思い・タイム等が可視化できるように運動会のあゆみシートを準備する。 ○運動会の種目を自分で選ぶために、パラフェイズ・表現体操の体験を繰り返す。 ○上記の2つの種目のうちから運動会で自分のやりたい方を、1つだけ選んで主体的に高められるようにする。 ●自分の目標や課題を乗り越える姿を認め、自信につながるようにする。 ●練習後に分かち合いの時間を設け、映像を見たり話し合ったりする中で活動の充実をはかる。 ○目標や改善点、良かった点などを振り返り、意見を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●みかんの絵本をよんだり、クイズを出したりすることにより、季節の果物の心を高める。 ○バスに乗る順番や並び順を示し、視覚的にわかるようにする。 ○クリスマス会の劇についての内容が深まるよう絵本をよんだり、登場人物の心情を問いつける。 ○様々な役の体験ができるような場を設定し、その中からやってみたい役を選ぶことにより主体的に関わることをできるようにする。 ○いろいろな表現を話し合い、創作しながら、共通のテーマのもとにまとまりのある活動を行う。 ○クリスマス会後も様々な役ができるような場や話し合いを設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○はがきや郵便ポスト、書き方の見本などを準備し、手紙のやり取りを通して、文字や数量への関心が高まるようにする。 ●日本の伝統行事を知りしめるよう話をし、飾りを出したり話したりして関心を高める。 ●園で最後の発表会として、曲を何曲か準備し、自分たちで選んで楽しむことができるようにする。 ●友達の歌声や楽器の音に気付くことで、合わせる心地よさを感じられるようにする。 ●ドッジボールのルールを理解し、チームでプレーすることの喜びを感じながら、自己発揮できるようにする。 ●選生活を描き返り、いろいろな人にお世話になったことに気付かせる、感謝の心をもてるようにする。 ●小学校について話したり、小学生と関わったりする機会を通して、就学に期待がもてるようにする。 	⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

校区内でずっと取り組んでいる「小学校ちよこっと体験」を交流の重点に置き、互いに学びのある内容になるよう実践しようとして共通理解しました。

協議の中で園と小学校、互いが大切にしていると分かった「自分たちで考え判断することを繰り返すこと」「選ぶ場面の設定」「分かち合い(振り返り)を大切にすること」を2年間貫く保育者の関わりとして記載しています。

カリキュラムのデータはこちら→



このカリキュラムの作成に当たっての実践例を P29～32 に掲載しています！！

架け橋期のカリキュラム例②-2「周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(小学校)」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたいことや工夫点を示しています。

山口県の共通の視点例をもとに周南市が作成した枠を使用しました。

小学校では、生活科を中心にした総合的な学びをデザインしていることが伝わるようにし、「振り返り(分かち合い)」に大切な、国語科の「話す・聞く」の単元も記載しています。「どんなことを学習するのか」を伝えるツールにもなっています。

園と小学校がめざす子ども像は、学校・地域連携カリキュラムにもつながっている部分があり、架け橋期の学びが18歳までの学びにもつながる重要なものだと伝わるように、中学校区のカリキュラムも掲載しました。

校区内で長年取り組んでいる「小学校ちよこつと体験」を1年生の学びの集大成とし、自分たちの成長を振り返り、次の学びへつなげられるような活動をめざしています。

令和6年度周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(周南市立徳山小学校)

対象	小学校1年生											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
架け橋となる幼児期の終わりまでに育てほしい姿	1年生になった喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする時期 学校生活に慣れ、安心して自信をもって様々なことにに関わり、友達と楽しく過ごす時期 ・自分の思いや考えを出し合い、学習や生活が充実する時期 ・同じ目的に向かって、友達と力を合わせて活動に取り組む時期 1年間の活動を振り返って自信をもち、2年生になることへの期待が高まる時期											
①架け橋期にめざす子供像	重点的に育みたい力 ・自分が経験したことや考えたことをのびのびと伝え合える子			自分たちの課題に向かって友達と最後まで粘り強く取り組もうとする子						【徳山中校区とよきまカリキュラム】(知) 自信をもって主体的に学び続ける人(徳) 他者を思いやり、感謝の心をもつ人(体) よい生活習慣と強い体をもつ人(連携) 地域の明日を担う人		
②育みたい力(ねらい)	・話す力・聞く力・待つ力 ・自分の気持ちや考えが伝わる力			・言葉の力 ・感動体験 ・友達のことを理解しようとする力 ・コミュニケーション能力 ・友達と一緒に学びを作り出す力						・自分の行動に責任をもつ力 ・自分で考え・選び、やり遂げる力 ・気づく力		
③育ちと学びのつながり(活動・教科等)	国語【こんなものみつけたよ】、国語【おもしろいことあったよ】、国語【みんなに知らせよう】、国語【しらせないみせてたい】、国語【みんなおはなしができるかな】、国語【くわしくまごう】、国語【いいこといっぱい1年生】 算数【かざすとすじ・なんぼの】、算数【いろいろなたし】、算数【ふえたりへたり】、算数【なんじなんじかん】、算数【なんじなんじかん】 生活【いちねんせいはいはじまるよ】、生活【なまよしいっぱいがっこうたんけん】、生活【なつとともだち】、生活【いもものと なかよし】、生活【あくとともだち】、生活【みんなのここに大きくせん】、生活【もうすぐみんな2年生】・交流活動 ○月○日(○)											
④人とのつながり(交流活動)	交流活動1(2～6年生) 1年生を迎える会、交流活動2(6年) スポーツテストの仕方をおもてよう、交流活動3(幼児) 秋をいっしょに楽しもう、交流活動4(2～6年 保護者 地域の方) 親子交流会、交流活動5(年長児) 小学校ちよこつと体験											
⑤指導上の配慮事項	●手遊び歌や読み聞かせなど、幼児期の生活に近い活動を取り入れ、安心感をもてるようにする。 ●園の経験との共通性を感じ取らせることで、安心感を抱きながら考えた表現したりできるようにする。 ●子ども同士が互いの考えを話し合えるようにペア学習などを取り入れる。 ●子ども同士の意見の相違が起きたときは、子ども同士の関わりを見守りながら、思いに共感するとともに、園ではどうしていたかを思い出させ、自分がどうすればよかったのかを考えさせられるようにする。 ●生活科を中心とした総合的・関連的な指導の充実を図る。(いろいろな経験をする場の設定 季節や行事に合わせた環境支援) ●教師がすぐ教えたり説明したりするのはなく、自分たちで考え、判断し行動することを繰り返し、主体的な学習者として育つための関わり方を大切に。 ●課題解決のために「選ぶ」場面を意図的に取り入れ、子どもが自分の思いを表出できるようにする。(自分の思いを伝え合う場の設定) ●子どもたちの「振り返り」の時間を大切にし、自分たちの学びのよさや次への見通しがもてるようにする。(振り返りを生かした授業づくり) ○児童が安心感を持ち、自ら学びを広げたり、自分の力で学校生活を送ったりすることができるよう学習環境を整える。(道具の使い方 机の配置 場の設定などを視覚的に示す。活動のパターン化を図る など)											

協議の中で園と小学校、互いが大切にしていると分かった「自分たちで考え判断することを繰り返すこと」「選ぶ場面の設定」「分かち合い(振り返り)を大切にすること」を2年間貫く教師の関わりとして記載しています。

カリキュラムのデータはこちら→



架け橋期のカリキュラム例③-1「下関市川中下小学校区架け橋期のカリキュラム(人をつなぐ)」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】
 ①健康な心と体 ②自立心 ③協調性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え
 ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

下関市川中下小学校区(木の葉保育園・ひだれ保育園・川中幼稚園・下関国際高等学校付属幼稚園) 架け橋期のカリキュラム			自分でき判断する子			
			♣かかしこ子(主体的に学び、表現する子)	♥やさしい子(認め合い支え合う子)	♣つよ子(粘り強く、一生涯取り組む子)	
めざす子ども像	年長5歳児					
月	4月	5月	6月	7月	8月	
幼児の姿	●年長児になったことの喜びや期待感が見られ、年少児からつながりのある友達と一緒に遊ぼうとする。 ●戸外で活動することを楽しみ、いろいろな運動を遠くまで。 ●身近な動物植物に関わり、話を聞かせる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。
育みたい力ねらい	●新しい環境に慣れ、友達とのあそびを楽しむ。(♣♥) ●年長児としての自覚をもち、生活に必要なきまりを守る。(♣) ●身近な動物植物に触れたり、親しみをもって話せたりするなかで、やさしい気持ちで接することの大切さを感じる。(♥)	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを味わう。(♣♥) ●戸外で遊ぶ十分に動かし、友達と一緒に共通の目的をもって、意図的にあそびに取り組む。(♣♥♥) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♣♥♣)	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを味わう。(♣♥) ●戸外で遊ぶ十分に動かし、友達と一緒に共通の目的をもって、意図的にあそびに取り組む。(♣♥♥) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♣♥♣)	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを味わう。(♣♥) ●戸外で遊ぶ十分に動かし、友達と一緒に共通の目的をもって、意図的にあそびに取り組む。(♣♥♥) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♣♥♣)	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを味わう。(♣♥) ●戸外で遊ぶ十分に動かし、友達と一緒に共通の目的をもって、意図的にあそびに取り組む。(♣♥♥) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♣♥♣)	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを味わう。(♣♥) ●戸外で遊ぶ十分に動かし、友達と一緒に共通の目的をもって、意図的にあそびに取り組む。(♣♥♥) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♣♥♣)
環境構成 ☆保育者の 支援	・環境の変化から落ち着かない幼児もあるので、慣れ慣れない道具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ・いろいろな素材や用具などを自分たちで遊び、伸び伸びできるように用意しておく。 ・動物植物の世話や命に関する絵本の読み聞かせ等を通して、命の大切さについて知らせる。 ・年長児になった喜びや緊張、不安などさまざまな気持ちに寄り添い、一人ひとりの丁寧な受け止めを大切に。 ・宮異年齢とかわからず中で、世話をしようとする気持ちになるようにする。 ・☆教師も一緒に驚いたり、感動したりして、幼児の喜びや発見を大切にしたい。	・あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備しておく。場や時間を十分に確保する。 ・水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	・あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備しておく。場や時間を十分に確保する。 ・水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	・あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備しておく。場や時間を十分に確保する。 ・水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	・あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備しておく。場や時間を十分に確保する。 ・水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	・あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備しておく。場や時間を十分に確保する。 ・水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。
家庭との連携	○進捗時の生活の様子や知らせ、幼児が安定して過ごせるよう協力や呼び掛け。 ○基本的な生活習慣について、園と家庭で一貫した指導ができるように伝える。 ○家庭訪問、個人面談等を通して、園でのあそびの様子や年長児になってからの成長の様子を知らせる。 ○連絡帳を通してやり取りしたり、その日の保育について隔りに保護者に伝えたりする。	○雨の日の歩き方、傘の持ち方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体質に合わせた適切なあそびや遊び場を紹介する。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○雨の日の歩き方、傘の持ち方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体質に合わせた適切なあそびや遊び場を紹介する。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○雨の日の歩き方、傘の持ち方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体質に合わせた適切なあそびや遊び場を紹介する。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○雨の日の歩き方、傘の持ち方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体質に合わせた適切なあそびや遊び場を紹介する。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○雨の日の歩き方、傘の持ち方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体質に合わせた適切なあそびや遊び場を紹介する。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。
交流活動の予定	<ul style="list-style-type: none"> 新1年生情報交換会 交流事前打ち合わせ(4月) 1年生授業参観 運動会練習見学会 		<ul style="list-style-type: none"> 1年生授業参観 幼児研修会(7月) 2年生との交流(学級)JA♥ 5年生との交流(6月)♣♣ 運動会練習見学会(給食見学会)・トイレの使い方 プール見学・裏庭見学・トイレの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生授業参観 2年生との交流(学級)JA♥ 就学研修(10月)♥♥ 1年生を味わう体験・トイレの使い方 生活科授業参観・トイレの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観(土曜日)(11月) 園の話(園芸研修) (11月) 校長室参観学・トイレの使い方 園遊会利用・トイレの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ☆幼児小連絡協議会(学年末のうち合わせ) 全校授業参観 1年生との交流(年長児の小学校体験)♥♥ 準備入学(2月)
小学校1年生	<ul style="list-style-type: none"> 1学期前半 2学期前半 2学期後半 3学期 					
小ねらい	●1年生になったことを喜びや期待感で見られ、年少児からつながりのある友達と一緒に遊ぼうとする。 ●戸外で活動することを楽しみ、いろいろな運動を遠くまで。 ●身近な動物植物に関わり、話を聞かせる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から遠くまで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿も見られる。	
環境構成 ☆教師の 支援	・前の期や授業参観等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ・視覚的支援を大切に。 (例)1日の流れを見えるように掲示、朝の付付け、約束などはイラストを入れた絵カードを使用することでわかりやすく表示するなど。 ・学年会を定期的に開催して、慣れ親しんだ友達と触れ合う時間を設ける。 ☆4.5分という短い時間には、子供たちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を使ったり、順番の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなどの配慮する。 ☆集団生活の基本が身につくように、繰り返して、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と遊んだりする中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	・自分の役割や約束を守るように促す。 ・授業参観に向けて、準備や時間を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	・自分の役割や約束を守るように促す。 ・授業参観に向けて、準備や時間を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	・自分の役割や約束を守るように促す。 ・授業参観に向けて、準備や時間を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	・自分の役割や約束を守るように促す。 ・授業参観に向けて、準備や時間を守り、みんなが気持ちよく安全に遊べるように配慮する。 ・☆小動物の世話をしながら、成長や動きに興味や関心をもち、いたわりの気持ちも育むようにする。 ☆自分の意見を出しながら友達の思いや考えを受け入れることで、あそびがもっと楽しくなることに気づくようにする。	
家庭との連携	○家庭の良し悪しや進捗との関わりの中で育ててくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ○授業参観を通して、学校と家庭の様子を伝え合い、連携を図ることで児童の育ちにつなげていく。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○児童の良し悪しや進捗との関わりの中で育ててくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ○授業参観を通して、学校と家庭の様子を伝え合い、連携を図ることで児童の育ちにつなげていく。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○児童の良し悪しや進捗との関わりの中で育ててくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ○授業参観を通して、学校と家庭の様子を伝え合い、連携を図ることで児童の育ちにつなげていく。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○児童の良し悪しや進捗との関わりの中で育ててくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ○授業参観を通して、学校と家庭の様子を伝え合い、連携を図ることで児童の育ちにつなげていく。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○児童の良し悪しや進捗との関わりの中で育ててくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ○授業参観を通して、学校と家庭の様子を伝え合い、連携を図ることで児童の育ちにつなげていく。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。	○児童の良し悪しや進捗との関わりの中で育ててくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ○授業参観を通して、学校と家庭の様子を伝え合い、連携を図ることで児童の育ちにつなげていく。 ○個人の意見や、幼児の成長の様子を知らせ、保護者ともしっかり認め合えるようにする。

架け橋期を通してどのような子どもを育てたいのかを、表す「めざす子ども像」を決めることで、共通の視点で同じ小学校区の子どもたちを育成することができると考えました。

以前作成されていた接続期のカリキュラムをもとに、「人をつなぐ」ページと「学びをつなぐ」ページに整理し、2枚にまとめました。

園では、家庭との連携を大切にしています。小学校でもできる家庭との連携を考え、引き続き家庭と協力しながら子どもたちを育てていきたいと考えました。

交流活動を中心として、上側が園、下側が小学校の欄として、保幼小のつながりが分かりやすくなるようにまとめました。

カリキュラムのデータはこちら→



カリキュラム例
架け橋期の

架け橋期のカリキュラム例③-2「下関市川中小学校区架け橋期のカリキュラム(学びをつなぐ)」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

園では、それぞれ特色ある取組を行っているので、全てを載せることは難しいと考え、「小学校の教科教育につながる活動」に絞りました。小学校へのつながりとともに、それぞれの園での特色ある保育を確認することもできました。

「学びをつなぐ」のページでは、主な行事と園での活動内容と小学校での教科指導の内容について載せました。

		【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形・図表や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現											
		自分で考え判断する子											
		♣かしいこ子 (意欲的に学び、表現する子)				♥やさしい子 (認め合い支え合う子)				◆つよい子 (粘り強く、一生懸命取り組む子)			
めざす子ども像	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保育園・幼稚園	活動	・好きなあそび 【砂あそび、ままごと、移動遊具、固定遊具、草花あそび、虫探し、鬼ごっこ、製作あそび、ごっこあそび、】 ・腐材あそび ・花の種、野菜の苗植え ・飼育物の世話 ・体操・リズムあそび ・園内探検 ・年少児のお手伝い(当番活動)	・好きなあそび ・こいのぼりづくり ・家族の日プレゼントづくり ・絵具あそび【個人絵の具】(通年) ・風車づくり ・共同制作(壁面づくり) ・運動遊び 【行進、体操、遊戯、かけっこ】 ・玉ねぎ取履	・好きなあそび ・水・プールあそび 【色水あそび、泡あそび、シャボン玉あそび、浸し染め・はじき絵】 ・芋の苗植え ・歯磨き指導 ・お天気調べ ・言葉あそび ・時計づくり	・好きなあそび ・七夕飾りづくり ・水・プールあそび ・野菜の収穫 ・鍵盤ハーモニカ練習 ・おまつりごっこ ・鉛筆テスト ・大掃除	・好きなあそび ・水・プールあそび ・おまつりごっこ	・好きなあそび ・運動あそび 【ドッジボール、サッカー・スイングスキャップ・短縄】 ・木の実や木の葉あそび ・球根植え、水栽培 ・芋掘り・焼き芋 ・ハーモニカ練習 ・歌唱	・好きなあそび ・運動あそび ・長縄あそび ・木の実や木の葉あそび ・ペーパーサート ・楽器あそび ・劇あそび ・土手あそび ・腐材あそび ・玉ねぎ苗植え	・好きなあそび ・運動あそび ・マラソン ・ゲームあそび ・クリスマス飾り作り ・お土産さんごっこ ・腐材あそび ・郵便ごっこ ・大掃除	・好きなあそび ・マラソン ・劇あそび ・正月遊び 【凧あげ、駒返し、羽根つきなど】 ・ゲームあそび 【かるた、トランプ、すごろくなど】 ・鬼のお面づくり ・郵便ごっこ	・好きなあそび ・運動あそび ・マラソン ・ゲームあそび ・ひな人形づくり ・作品集作り ・楽器あそび	・好きなあそび ・運動あそび ・マラソン ・ゲームあそび ・豆まき 生活発表会	・好きなあそび ・運動あそび ・縄跳びあそび ・卒園に向けて
	保育の主な行事	始業式、入園式、誕生会、下関いのちの日、家庭訪問、選書会、避難訓練【通年】	誕生会、親子交通教室、参観日 学級懇談、小運動会	誕生会 日曜参観日 虫歯予防集会	誕生会、七夕集会、個人懇談、終業式、作品展(鑑賞会)、四方山保育	誕生会、夏祭り	誕生会、始業式、運動会、遠足	誕生会、バス遠足、お土産さんごっこ ハロウィンパーティー	誕生会、リズム会 お土産さんごっこ	誕生会、個人懇談 発表会、お楽しみ会(クリスマス会)、終業式	誕生会、始業式、お正月会、参観日	誕生会、豆まき 生活発表会	誕生会、お別れ会、ひなまつり会、卒園式、修了式、お別れ遠足
学びをつなぐ	交流活動の予定	新1年生情報交換会 交流事前打ち合わせ(4月) 1年生授業参観(5月) 運動会練習見学				1年生授業参観 幼小研修会(7月) 2年生との交流(芋掘え)JA♥ 5年生との交流(6月)♣◆				1年生授業研修 2年生との交流(芋掘り)JA♥ 就学時健診(10月)♥◆ 1年生授業参観後トイレの使い方 生活科授業参観後トイレの使い方			
	小学校の主な行事	入学式、下関いのちの日、参観日学年はじめ懇談	1年生を迎える会、運動会、	参観日、水泳開始、個人懇談(希望者のみ)終業式	参観日、水泳開始、個人懇談(希望者のみ)終業式	始業式	参観日	個人懇談、社会見学、就学時健康診断	土曜参観、PTAバザー児童集会、持久走大会	終業式	始業式、参観日、	予備入学、参観日	6年生をおくる会、卒業式、修了式、離任式
小学校	生活科	がっこうだいすきいねんせい 初めての学校生活で、先生や友達と関わりながら、施設や生活のしかた、登下校に慣れ、安心して楽しく生活できるようにする。 ・たくさんあそびたい。 ・がっこうもたのしいよ。 ・わくわくどきどきするね。 ・なかくならないな。 ・わたしもやってみよう。 ・もっとがっこうをしてみたいな。	いくぞ！がっこうをたんけんたい 学校探検する活動を通して、たくさんの人・もの・こととの出会い関わりを繰り返していく中で、学校を支えている施設、人、友達のことやわたり、楽しく安心して遊びや生活ができると共に、6年間の小学校での学びについて見直しをもち、卒業をもちたりにして、学校の自分の生活を豊かに広げようとする。	きせつとおそぼう【はるからなつ】【あめのひをたのしもう】【なつをもっとたのしもう】【なつやみがやってくる】【あき】【ふゆ】 ・年間を通して身近な自然に触れながら全体を使って遊んだり、自然を使って工夫して遊んだりする。 ・活動を通して、自然の不思議さ、季節の変化に気づき、遊びや生活を楽しくする。 わたしのはなをそでよう ・自分で決めた植物を種から育てることで、植物への思いをもって世話をすることができるようになる。 ・植物の気化や成長の様子に気づくとともに、生命の不思議さに触れ、植物も自分たちと同じように命をもって成長していることに気づき、親しみをもって大切にしようとする。 生きものだいすき ・身近な生き物を探したり観察したりしながら、その特徴に気づくことができる。 ・生き物に親しみをもち、たいせつにしようとする。	むかしからのあそびをたのしもう いろいろな遊びがあること、地域ごとにちがうのは行事や文化があることを知り、自分がやりたい遊びや自分の地域の行事や文化に関して知りたことを考える。また、実際に取り組んで感じたことや気づいたことを自分の生活に取り入れようとする。ことができる。	もうすぐ2年生 1年間の自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分とは多くの人々に変えられていることや、じぶんでできるようになったことなどに気づくとともに、自分の生活やこれまでの成長を変えてくれた人々への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いと期待をもって生活しようとする。ことができる。							
	その他の教科	国語科「いいてんき」 「あつまって はなそう」 音楽科「うたっておどってなかくならう」 体育科「うんどうしようであそぼう」 「ゆうぐをつかってみよう」 道徳科「みんなであそぼう」 「あいきつてげんまに」 「みんなであそぼう」 「みんないきている」 図画工作科「すきなもいっばい」 「ねんどとなかよし」	国語科「どうぞよろしく」 「なんていおうかな」 「こんなものみつけたよ」 「ききたいな、ともだちのはなし」 「はなのみち」 音楽科「はくをかんじよう」 体育科「うんどうかいにむけて」 道徳科「がっこうたんけん」 「わたしにできること」 図画工作科「はこはこをくみあわせて」 「きらきらどろどろいもいもち」	国語科「わけをはなそう」 「くくばし」 「おおきなかぶ」 「すきなもの、ななに」 「おむすびごころり」 音楽科「はくにのりりずむをうとう」 体育科「リレーでようしよう」 「みずあそび」 図画工作科「みてみて、いっばいつくったよ」 「チョッキンパカでかろう」 「ながーいからから」	国語科「いちねんせい うた」 「ききたいな、ともだちのはなし」 「やくそく」 「うみの かくれんぼ」 「くじらぐも」 「くらせたいな 見せたいな」 音楽科「みのまわりのおとにみみをすまそう」 「どれとどなかくならう」 体育科「マツとあそび、とびはこあそび、てつぽあそび」 「たからとりに」 道徳科「おとしよりといっしょに」 図画工作科「おはなしからうまれたよ」 「ひかりのくにのなかまたち」 「きわめてかくのきもちいい」	国語科「じどうしゃ くらべ」 「ともだちのこと、しらせよう」 「おかけの おなべ」 「もの なまえ」 音楽科「せんりつでよびかけあおう」 「がうまとなかくならう」 「ようすをおもいうかべよう」 体育科「ボール投げあそび」 「じまゆうそう」 道徳科「はしりのうえのおかみ」 図画工作科「のってみたいないきたいな」	国語科「ききたいな、ともだちのはなし」 「たぬきの 傘」 「どうぶつ 赤ちゃん」 「これは、なんでしょう」 「ずうと、ずうと、大ききだよ」 「いいこといっぱい、一年生」 音楽科「はなのうたをたのしもう」 「みんなであわせたのしもう」 体育科「なわとび」 「ボール投げあそび」 道徳科「もうすぐ2年生」 「二わのこことり」 図画工作科「このころのはなをきかせよう」 「スタンプ、スタンプ！」						

生活科を中心とした、総合的・関連的な指導を行うに当たり、生活科の単元、ねらいを載せることで、見通しをもって保育や授業を行うことができると考えました。

